

キーワード

東洋医学, 視覚障害, 学習支援, 教材, 携帯型端末

研究概要

視覚に障害のある人が、墨字や点字の教材を利用して任意の箇所を探す場合には、大きな労力と時間を要します。特に東洋医学の領域では、聞き慣れない用語や難しい漢字も多いため、自主学習では、繰り返し教材にアクセスする必要があります。このような視覚障害者の東洋医学学習環境をサポートするために、スマートフォンやタブレットなどの拡大機能や読み上げ機能を利用して、視覚障害者にも使いやすいユニバーサルな補助教材のプラットフォームを提案し、実用性を検証しています。

- 視覚障害の程度に応じて、音声読み上げ用コンテンツと視認用コンテンツの2種類から選択



- ユニバーサルな用語検索環境
- 漢字の説明や関連用語へのリンクの工夫
- 一覧表などの付録も充実



実際に、視覚障害のある学生さんに、試作した教材を使って東洋医学の問題を解いてもらう研究では、墨字や点字の教科書を利用する場合と比べて効率よく正解や意味が理解できることが明らかになりました。

【参考文献】全日本鍼灸学会雑誌 2018;68(4):274-82, 筑波技術大学テクノレポート 2018;26(1):123-5, 筑波技術大学テクノレポート2019;27(1):85-7.

応用例・用途

東洋医学学習者向けユニバーサル学習電子教材としての出版・製品化



国立大学法人 筑波技術大学 学術・研究委員会

【問い合わせ先】

〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15

TEL : 029-858-9339 FAX : 029-858-9312

大学戦略課 企画戦略係

E-MAIL : kenkyo@ad.tsukuba-tech.ac.jp